

ネクスペース ステアー (直付ナタイプ) 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 桁の埋め込み内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。桁内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、桁の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

△ 注意

- 本商品は、樹脂材を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れ、または破損する恐れがあります。
- 階段桁の躯体面等でケガをしないように、軍手、安全靴を使用してください。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。

- 階段の手すりに乗ったり、揺すったりしないでください。
- 階段の手すりに雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。
- 階段の手すりに電線などを直接載せないでください。
- 階段の手すりには転落防止機能はありません。防護柵としての使用はできません。



使用上のご注意について

- 夏場の直射日光下では、表面温度が高温になることがありますので、素足で歩かないようにしてください。必ず、スリッパ等の履物を使用してください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- 重い物や鋭利な物を引きずったり、落としたりしないでください。キズ、割れの原因となります。

- 踏板の近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。



手すりの取付けについては、下記取付説明書を合わせて参照してください。

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

もくじ

施工前の確認	2	3. 手すりの取付け	16
梱包明細	3	3-1 手すり柱控え金具の取付け	16
各部の名称	4	3-2 笠木の取付け	17
納まり図	5	3-3 階段の設置 (※手すりを取付ける場合)	17
1. 躯体側の施工	7	3-4 ワイヤーの取付け	18
2. 階段の取付け	8	3-5 手すり柱カバーの取付け	20
2-1 施工前の確認	8	3-5-1 手すり柱カバーの加工	20
2-2 階段桁の組立て	8	3-5-2 手すり柱カバーの取付け	20
2-3 手すり接続部品の取付け	10	■施工工事店様、販売店様へのお願い	20
2-4 階段の接続	11		
2-5 階段桁カバーの取付け	12		
2-5-1 階段桁カバーの切出し	12		
2-5-2 桁カバーの取付け	12		
2-6 手すり柱の取付け	13		
2-7 踏板的取付け	14		
2-7-1 踏板的の組立て	14		
2-7-2 踏板的の取付け	15		
2-8 階段の設置	15		

施工前の確認

●施工前に確認してください。

水平・垂直・直角について

●水平・垂直・直角を、必ず正確に出して施工を行ってください。

セルフドリリングビスについて

- 本説明書では、セルフドリリングビスを直接打込む方法で説明しています。
- 先に下孔加工を行うことをお勧めします。特に樹脂材の場合、表面をきれいに仕上げることができます。
- 錆びの原因となりますので、セットビス以外を使用しないでください。

切詰め・下孔加工について

●本説明書に切詰め寸法および下孔加工位置寸法を説明していますが、現物合わせで寸法・位置を確認してください。

⚠注意

階段桁の躯体面は角度切りを行っているため、端部が鋭利になっています。施工の際は取扱いに十分注意してください。

桁の埋め込みについて

●桁を埋め込む場合は、地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように設置位置を決めてください。

手すりの取付けについて

- 手すり柱およびワイヤーの取付けについては、「3. 手すりの取付け」を参照してください。
- 手すり笠木の取付けについては、手すりおよび継手に梱包されている取付説明書を参照してください。

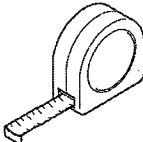
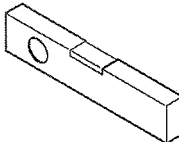
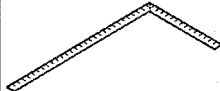
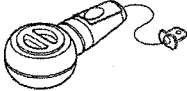
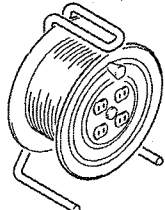
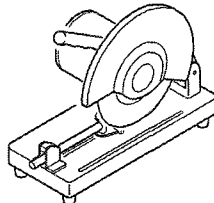
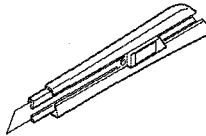
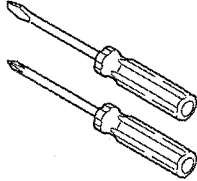
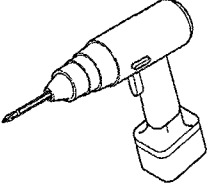
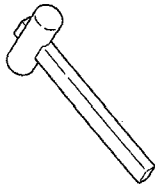
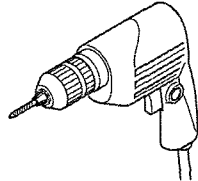
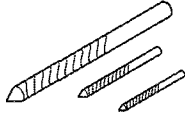
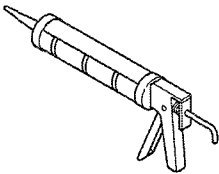
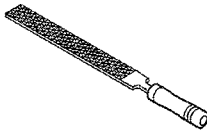
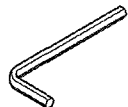
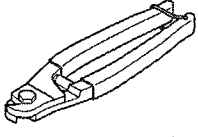


参照取付説明書

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

工具について

- 本商品を施工するにあたり、以下の工具が必要となります。

工具について		巻尺 (コンベックス)	水平器	差し金	(赤) 墨つぼ	電気コード
● 本商品を施工するにあたり、以下の工具が必要となります。		5m 用 				
		サッシャー	カッターナイフ	ドライバー (+/-)	電気ドライバー	ハンマー
					M10  ※市販品	
電気ドリル	ドリル刃	コーキングガン	ヤスリ	六角棒スパナ	ワイヤーカッター	
	φ 15mm / φ 4.5mm φ 3.5mm 			5mm  ※手すりにワイヤーを取付ける場合のみ	 ※手すりにワイヤーを取付ける場合のみ	

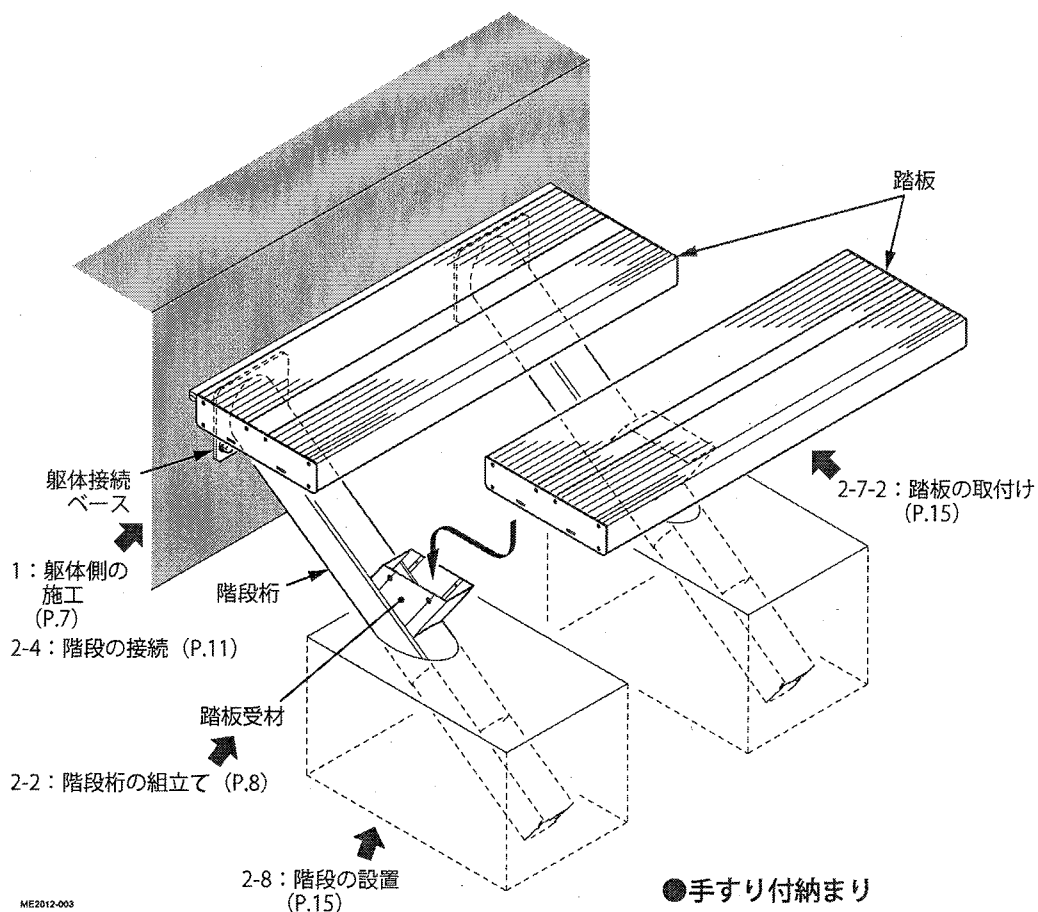
梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
●説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

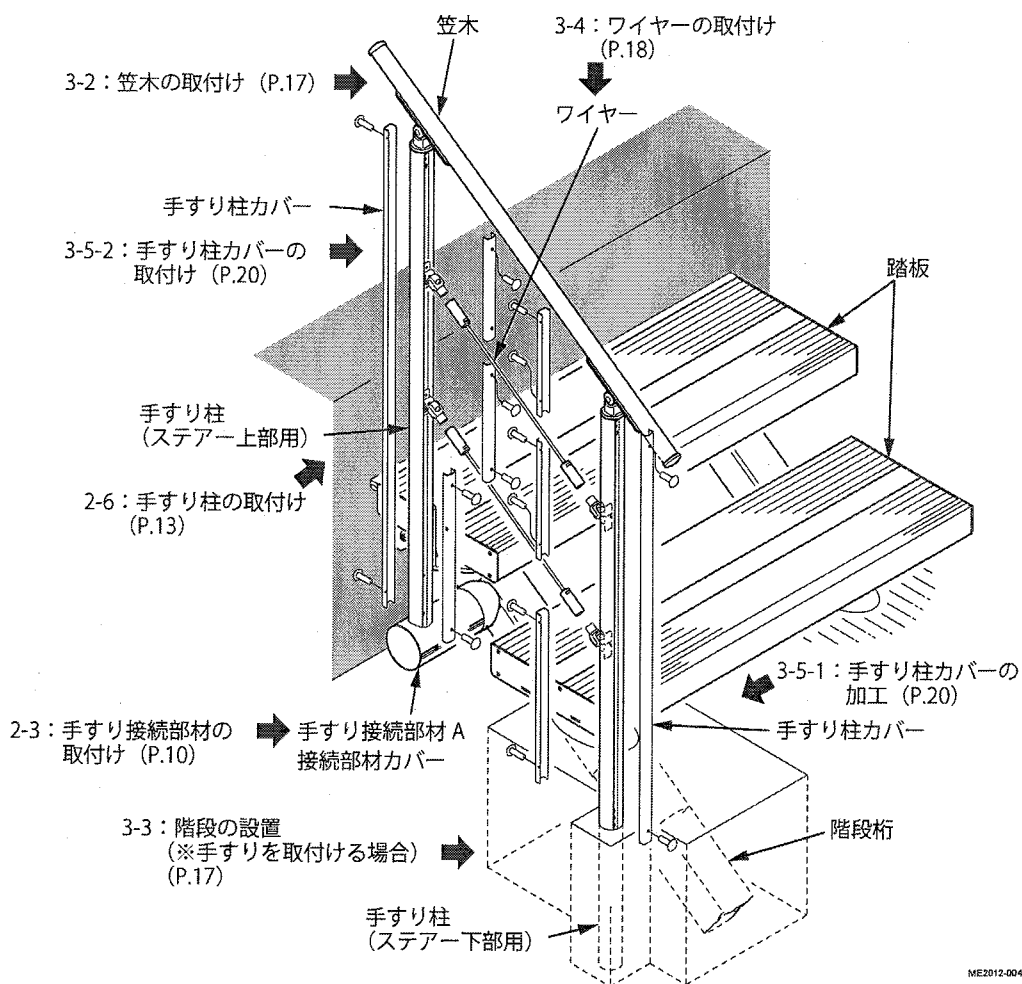
梱包名称			梱包内容	※表内の () は個数を表しています。
ステアー (階段)	階段桁	2 段 3 段 4 段	階段桁本体 (2) ・ φ 4 × 13 ナベセルフドリリングビス (25) 躯体ベースセット (1) [躯体接続ベース (2) ・ M8 × 20 六角ボルト (4) ・ M8 用バネ座金 (4) ・ M8 用平座金 (4) ・ M8 用六角ナット (4) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (4) ・ アジャストアンカー (8) ・ M10 × 30 六角ボルト (8) ・ M10 用バネ座金 (8) ・ M10 用平座金 (8)] ・ 取付説明書 [ME2012] (1) ・ 取扱説明書 [MET-1056] (1)	
	踏板	透光踏板 再生木踏板	踏板本体 (1)	
	階段用部品箱	2 段用	踏板受材 (4) ・ 踏板上部ブラケット (4) ・ 踏板下部ブラケット (4) ・ φ 5 × 12 緩み止め付皿小ネジ (32) ・ M8 × 20 六角ボルト (8) ・ M8 用バネ座金 (8) ・ M8 用平座金 (8) ・ M8 用六角ナット (8) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (8) ・ M6 × 15 アップセットボルト (16) ・ M6 用バネ座金 (16) ・ M6 用平座金 (16) ・ 踏板取付裏板 (8)	
		3 段用	踏板受材 (6) ・ 踏板上部ブラケット (6) ・ 踏板下部ブラケット (6) ・ φ 5 × 12 緩み止め付皿小ネジ (48) ・ M8 × 20 六角ボルト (12) ・ M8 用バネ座金 (12) ・ M8 用平座金 (12) ・ M8 用六角ナット (12) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (12) ・ M6 × 15 アップセットボルト (24) ・ M6 用バネ座金 (24) ・ M6 用平座金 (24) ・ 踏板取付裏板 (12)	
手すり	手すり柱	ステアー上部用 ステアー下部用	手すり柱本体 (1) ・ ブラケット受け材セット (1) [ブラケット受け材 (1) ・ M6 × 15 アップセットボルト (2) ・ M6 用平座金 (2) ・ M6 用バネ座金 (2)] ・ φ 4 × 20 トラスタッピン 3 種 (12)	
	ステアー用 手すり接続部品 R		階段手すりブラケット R (1) ・ 手すり接続部材 A (1) ・ M8 × 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) ・ M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 × 25 セムスボルト (12) ・ 接続部材カバー (上・下各 1) ・ 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ 接続部材カバー当て板 (1) ・ 接続部材隙間ふさぎ (2) ・ φ 4 × 20 ナベタッピン 2 種ガイド付 (2) ・ φ 4 × 13 ナベセルフドリリングビス (4) ・ φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2) ・ 手すり柱控え金具 A (1) ・ 控え金具裏板 (2) ・ M5 × 20 トラス小ネジ (4) ・ M5 用平座金 (4) ・ φ 4 × 30 ナベセルフドリリングビス (2)	
	ステアー用 手すり接続部品 L		階段手すりブラケット L (1) ・ 手すり接続部材 A (1) ・ M8 × 20 六角ボルト (2) ・ M8 用バネ座金 (2) ・ M8 用平座金 (2) ・ M8 用六角ナット (2) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (2) ・ M8 × 25 セムスボルト (12) ・ 接続部材カバー (上・下各 1) ・ 接続部材カバー端部キャップ (1) ・ 接続部材カバー当て板 (1) ・ 接続部材隙間ふさぎ (2) ・ φ 4 × 20 ナベタッピン 2 種ガイド付 (2) ・ φ 4 × 13 ナベセルフドリリングビス (4) ・ φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス (2) ・ 手すり柱控え金具 A (1) ・ 控え金具裏板 (2) ・ M5 × 20 トラス小ネジ (4) ・ M5 用平座金 (4) ・ φ 4 × 30 ナベセルフドリリングビス (2)	
	ステアー用ワイヤーセット		ロープテンショナー用片端子付ワイヤー [L=745] (2) ・ ロープテンショナー (2) ・ 自在座金 (4) ・ テンショナー台座 [階段用] (4) ・ M6 × 25 キャップボルト (4) ・ φ 4 × 16 ナベセルフドリリングビス (8) ・ テンショナー取付専用スパナ (1) ・ ロックフリー (1)	

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※ () 内は説明ページを示しています。



●手すり付納まり



納まり図

●寸法一覧表

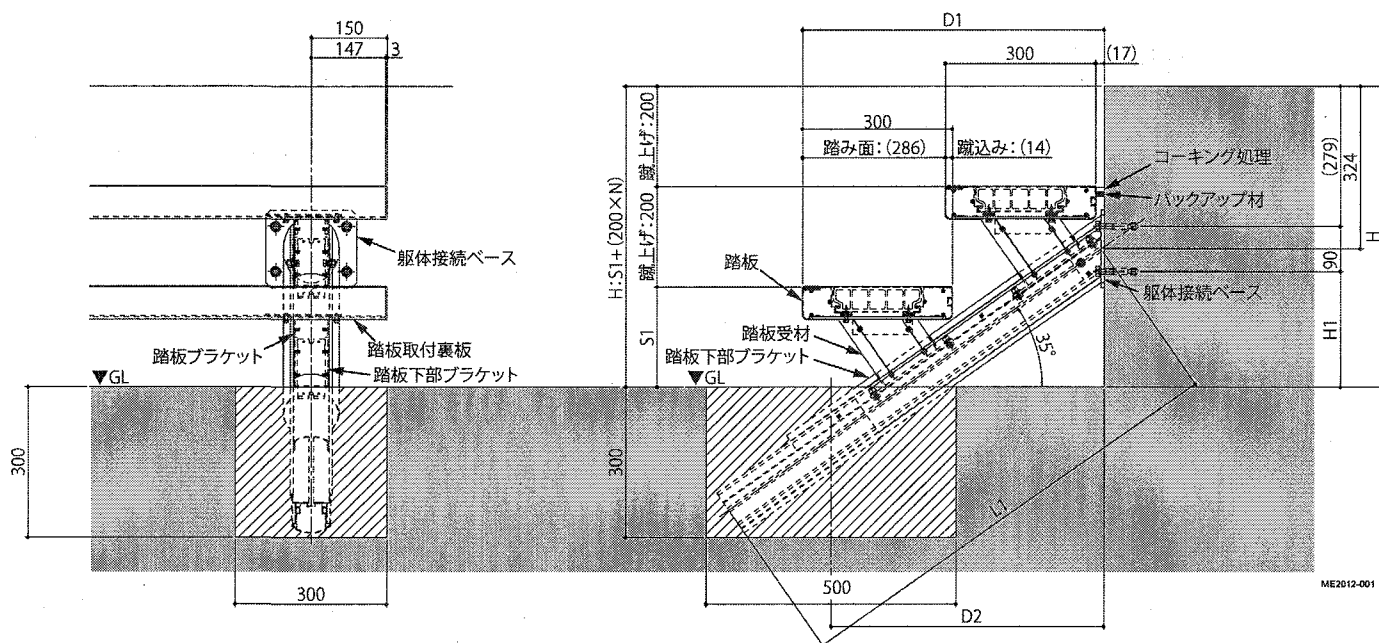
(mm)

H	対応段数：N	S1	H1	D1	D2	L1	L2
500	2	100	(131)	(603)	(402)	(734)	(426)
600		200	(231)		(545)	(908)	(600)
700	3	100	(331)	(888)	(688)	(1082)	(774)
800		200	(431)		(831)	(1256)	(949)
900	4	100	(531)	(1174)	(973)	(1431)	(1123)
1000		200	(631)		(1116)	(1605)	(1297)

※ () 内寸法は近似値です。

標準納まり

※本図は、2段・再生木踏板の場合を示しています。

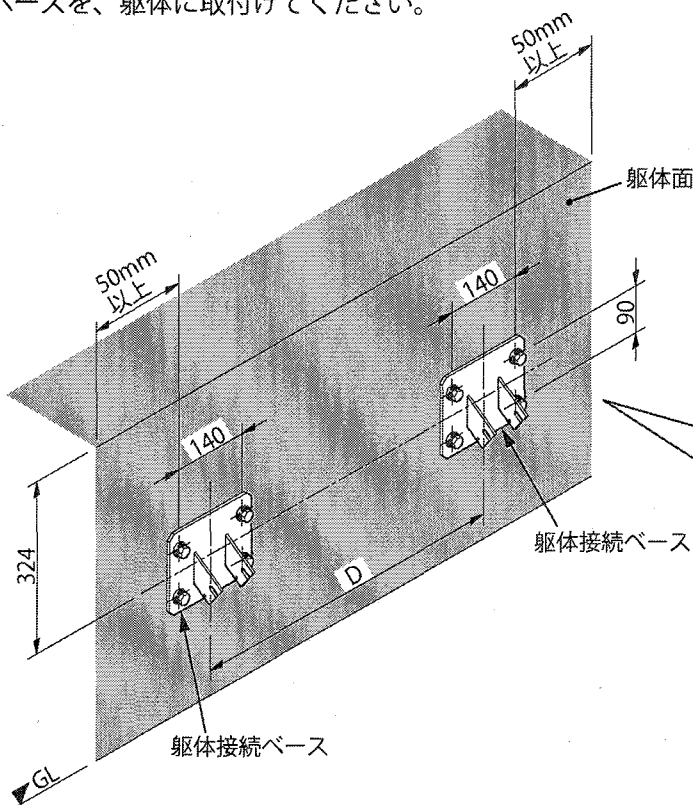


ME2012-001

1

躯体側の施工

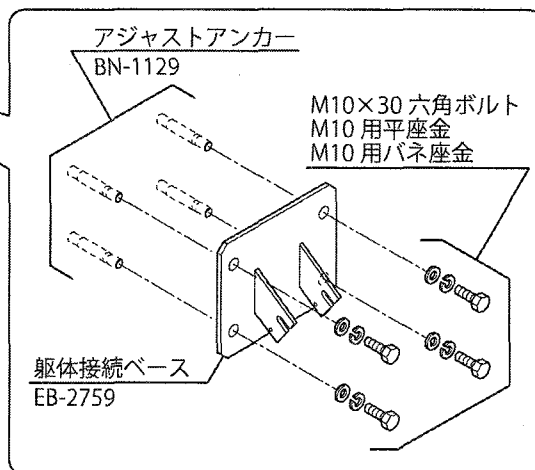
- ①「納まり図」および下表を参照して、寸法と位置を確認してください。
- ②アジャストアンカーを、躯体に取付けてください。
- ③躯体接続ベースを、躯体に取付けてください。



●寸法一覧表 (mm)

階段出巾	D
900	600
1200	900
1500	1200

ME2012-101



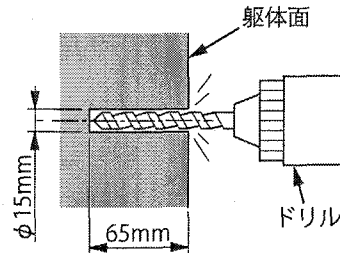
躯体側の施工について

- 右図を参照して、アジャストアンカーを取付けてください。

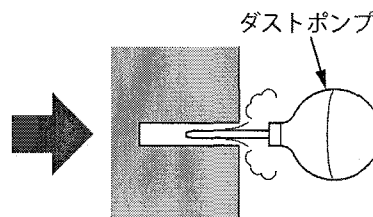


壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルキリを使用してください。
※使用しないと、壁面にひび割れが起
こる原因となります。

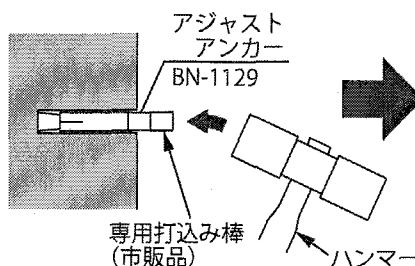
- ①躯体にφ15mm、深さ65mmの下孔をあけてください。



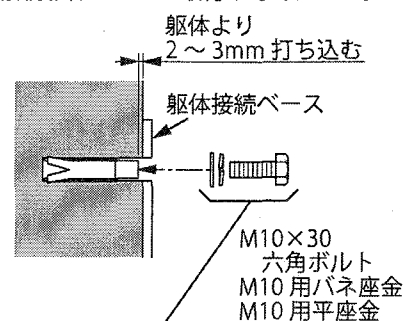
- ②下孔の切粉を取り除いてください。



- ③アジャストアンカーを打ち込んでください。



- ④接続躯体ベースを取付けてください。



2

階段の取付け

2-1

施工前の確認

階段踏板の種類

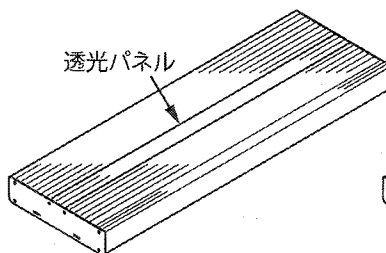


本商品には、右記の2種類の階段踏板を取付けることができます。

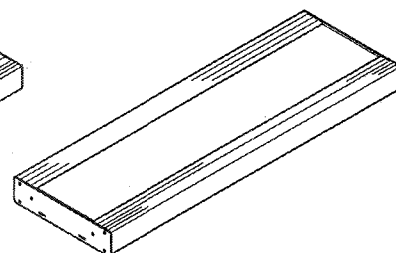
△注意

階段桁の躯体面は角度切りを行っているため、端部が鋭利になっています。施工の際は取扱いに十分注意してください。

●透光踏板



●再生木踏板

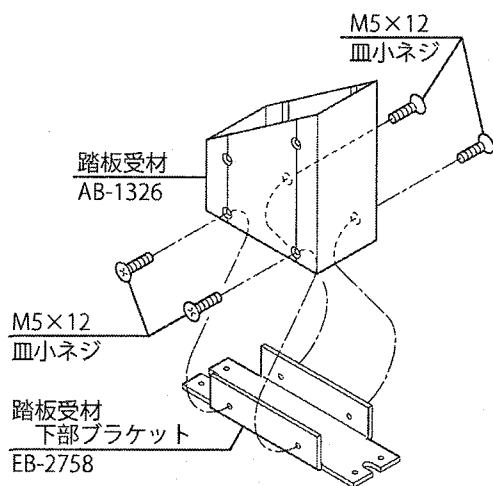


ME2011-301

2-2

階段桁の組立て

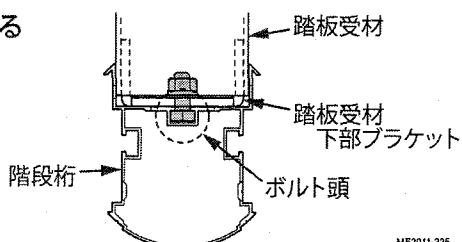
- ①踏板受材を踏板下部ブラケットに取付けてください。



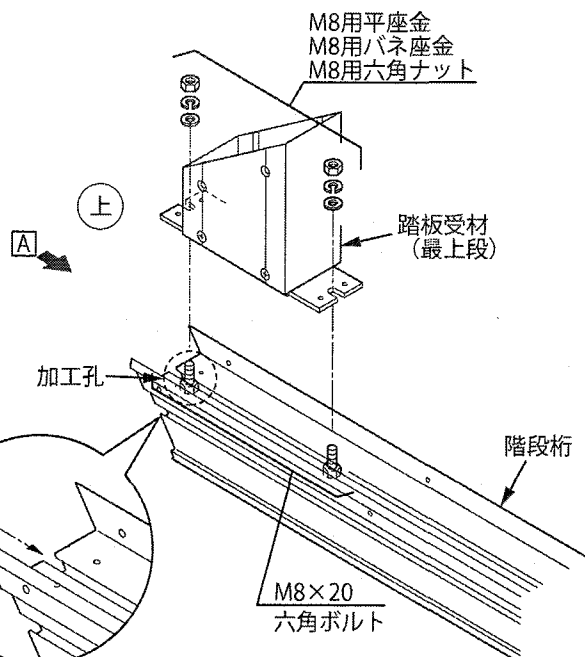
ME2011-302

- ②六角ボルト（ボルト頭）を、階段桁上面のミズにスライドさせて挿入してください。
- ③六角ボルトに踏板下部ブラケットを取付けてください。

●Aから見る



ME2011-325

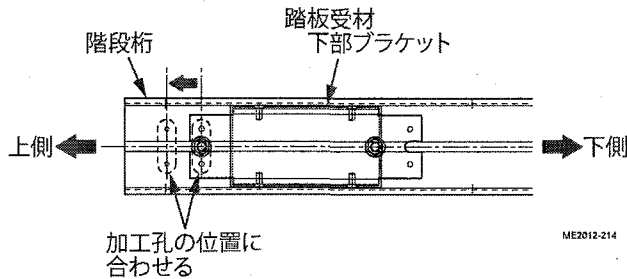


ME2012-201

- ④最上段の踏板受材を、階段桁の加工孔の位置で六角ナットを本締めし、固定してください。



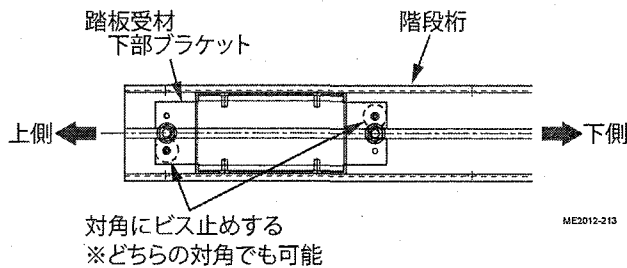
最上段用から先に取付けてください。
※下段の取付けの基準となります。



- ⑤最上段の受材下部ブラケットの取付孔をビス止めしてください。



受材下部ブラケットは、4ヶ所の加工穴のうち対角を2点止めしてください。
※どちらの対角でも可能です。状況に応じてビス止めしてください。



- ⑥「手順②～⑤」と同様の手順で、下段の踏板受材も階段桁に取付けてください。

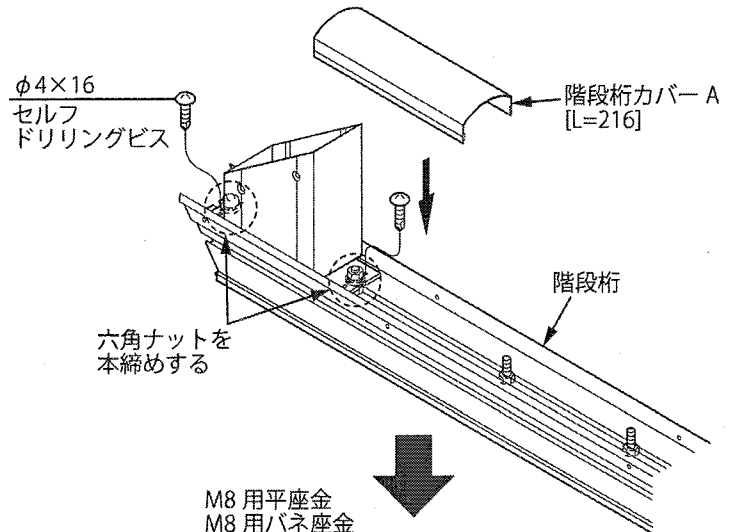


下段以降の踏板受材は、階段桁カバー A [L=216] を当てて位置を決めてください。

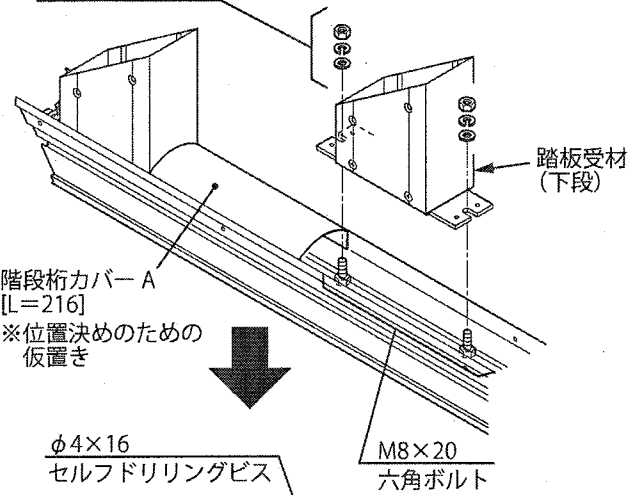
- ⑦階段桁カバー A を、階段桁に取付けてください。



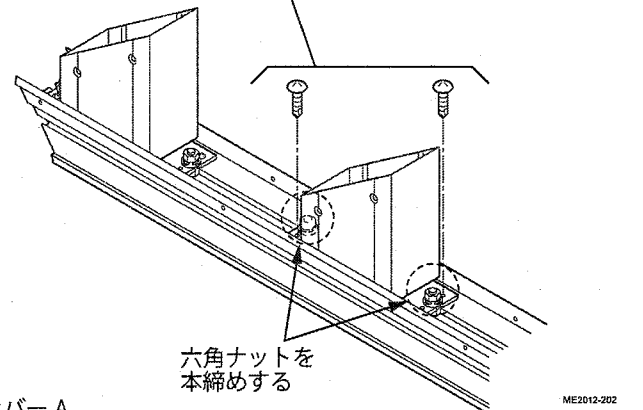
階段桁カバー A には、最上段部用と中間部用の区別があります。
・最上段部用：70mm
※端部が斜めに切断されています。
・中間部用：216mm



M8 用平座金
M8 用バネ座金
M8 用六角ナット

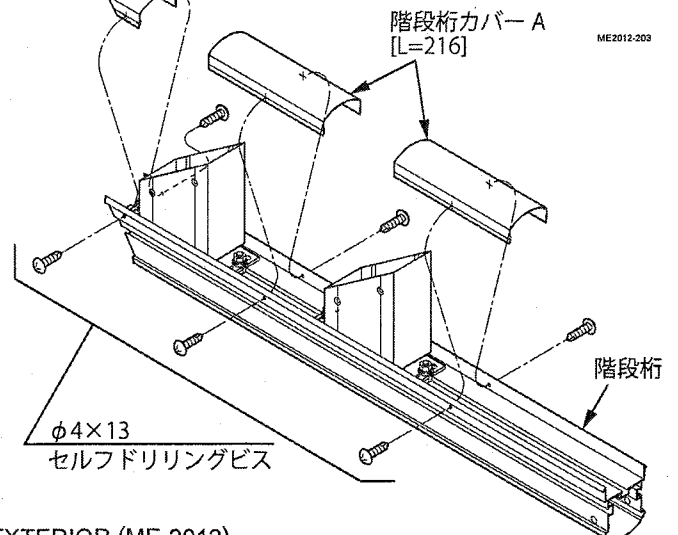


φ4×16 セルフドリリングビス
M8×20 六角ボルト



階段桁カバー A [L=70]

階段桁カバー A [L=216]



2-3 手すり接続部品の取付け



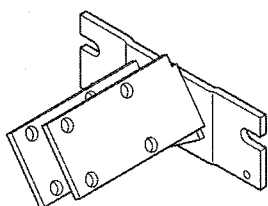
- 階段に手すりを取付ける場合に参照してください。
- ここでは、接続部品のみを取付け、手すり本体の施工は、後工程で行います。

- ①六角ボルト（ボルト頭）を、手すりを取付ける階段桁のミゾにスライドさせて挿入してください。
- ②階段手すりブラケットを六角ボルトに取付けてください。

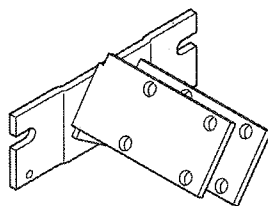


階段手すりブラケットには、左・右の区別があります。

●左用

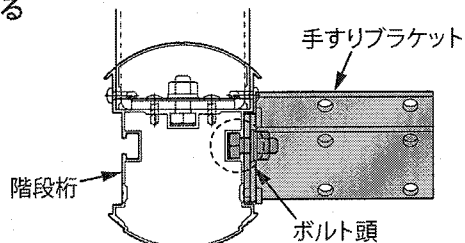


●右用



ME2011-305

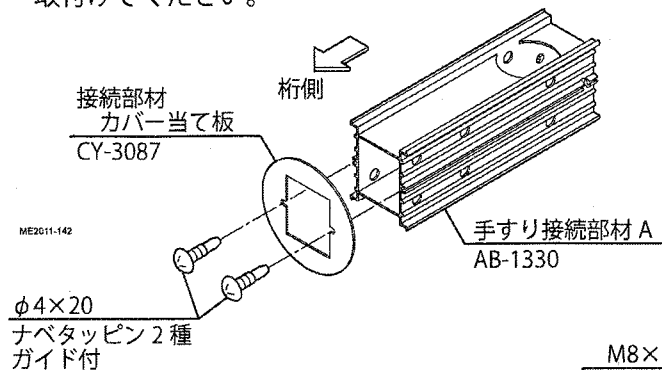
●Aから見る



ME2011-326

- ③階段手すりブラケットの六角ナットを、右図の位置で本締めしてください。
- ④階段手すりブラケットを階段桁にビス止めしてください。

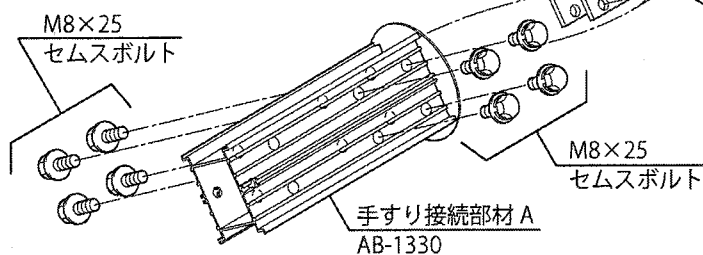
- ⑤手すり接続部材 A に、接続部材カバー当て板を取付けてください。



ME2011-142

φ4×20
ナベタッピン 2 種
ガイド付

- ⑥手すり接続部材 A を、階段手すりブラケットに取付けてください。

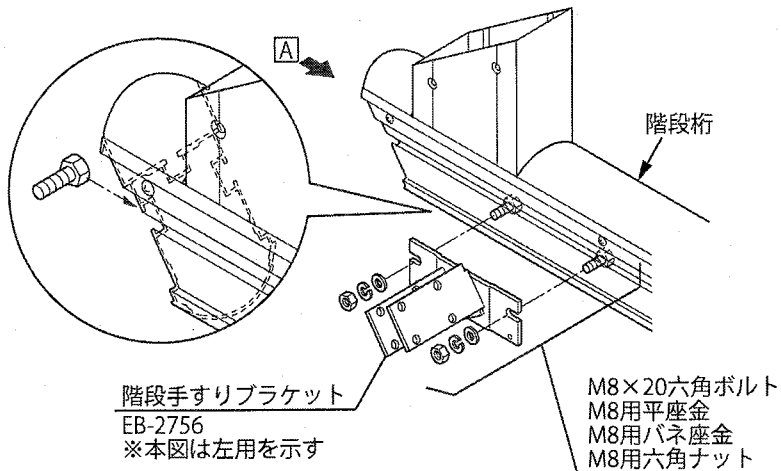


M8×25
セムスボルト

M8×25
セムスボルト

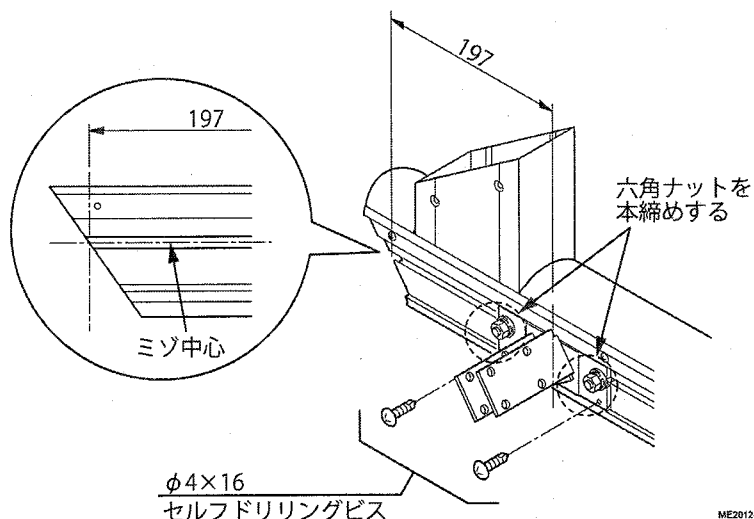
手すり接続部材 A
AB-1330

ME2012-205



階段手すりブラケット
EB-2756
※本図は左用を示す

M8×20六角ボルト
M8用平座金
M8用バネ座金
M8用六角ナット



φ4×16
セルフドリリングビス

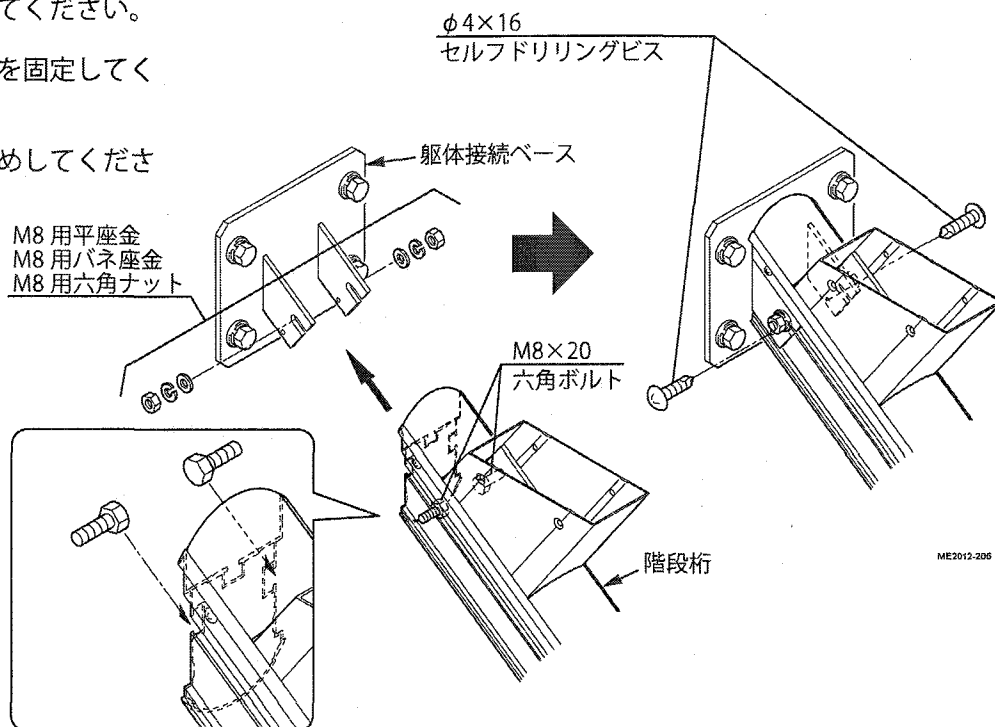
ME2012-204

2-4 階段の接続

- ①階段取付位置に基礎穴を掘ってください。
- ②六角ボルト（ボルト頭）を、階段桁のミゾにスライドさせて挿入してください。
- ③階段桁を躯体接続ベースに取付けてください。
- ④六角ナットを本締めして、階段桁を固定してください。
- ⑤躯体接続ベースを階段桁にビス止めしてください。



階段桁の端部を、躯体接続ベースの面に合わせた位置で固定してください。



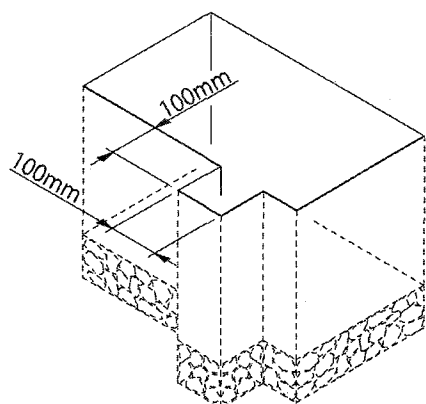
ME2012-206



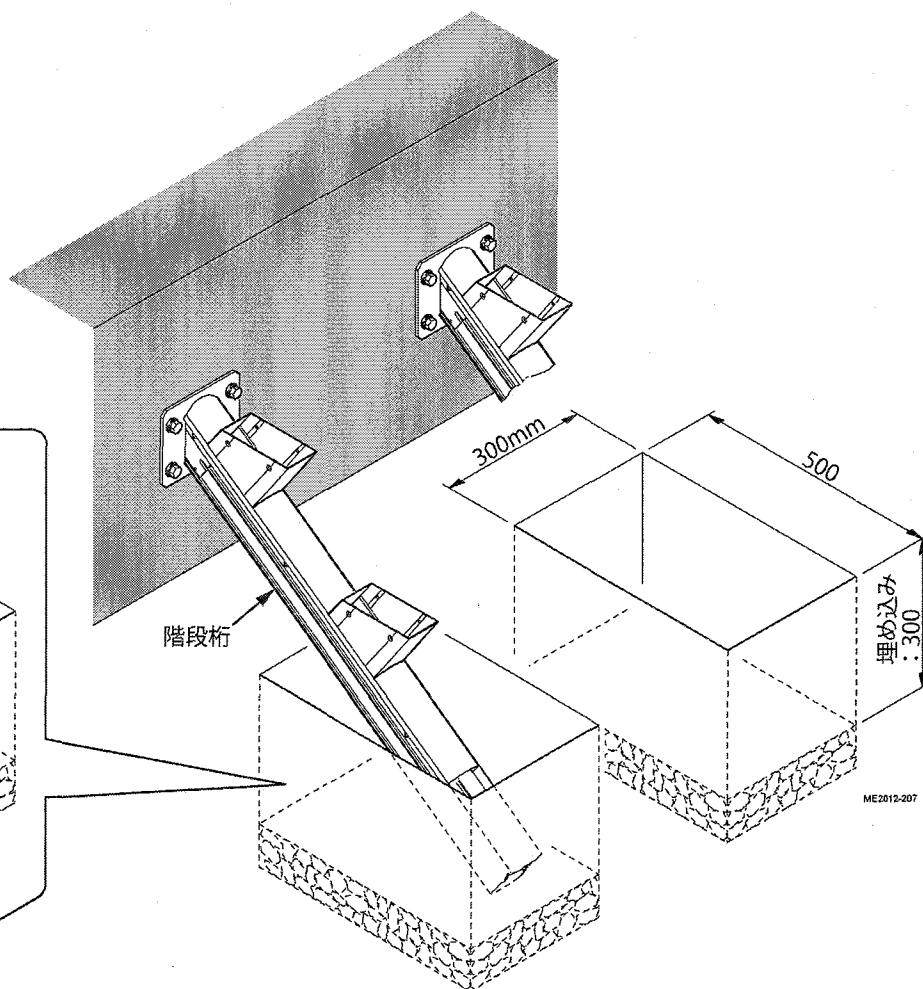
手すりを取付ける場合は、手すり柱（ステアー下部用）用の基礎穴も合わせて掘ってください。

※基礎穴位置は「納まり図」および完成プランを確認してください。

●手すりを取付ける場合



※本図は階段左側に手すりを取付ける場合を示しています。



ME2012-207

2-5 階段桁カバーの取付け

2-5-1 階段桁カバーの切出し



階段桁カバー B を、手すりを取付ける場合は、現場で指定寸法で切出してください。
※手すりを取付けない場合は、切断の必要はありません。

①階段桁カバー B を、右図および下表を参照して切断してください。

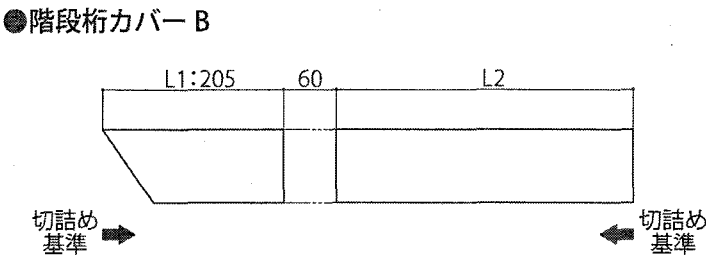
●切断寸法表 (mm)

段数	上用		下用	
	L1	本数	L2	本数
2 段	205	1	335	1
3 段			685	1
4 段			1035	1

※上記寸法は参考値です。実測 - 1mm で切断してください。



階段桁カバー B の切断には、切詰め基準があります。両端部から切詰めてください。

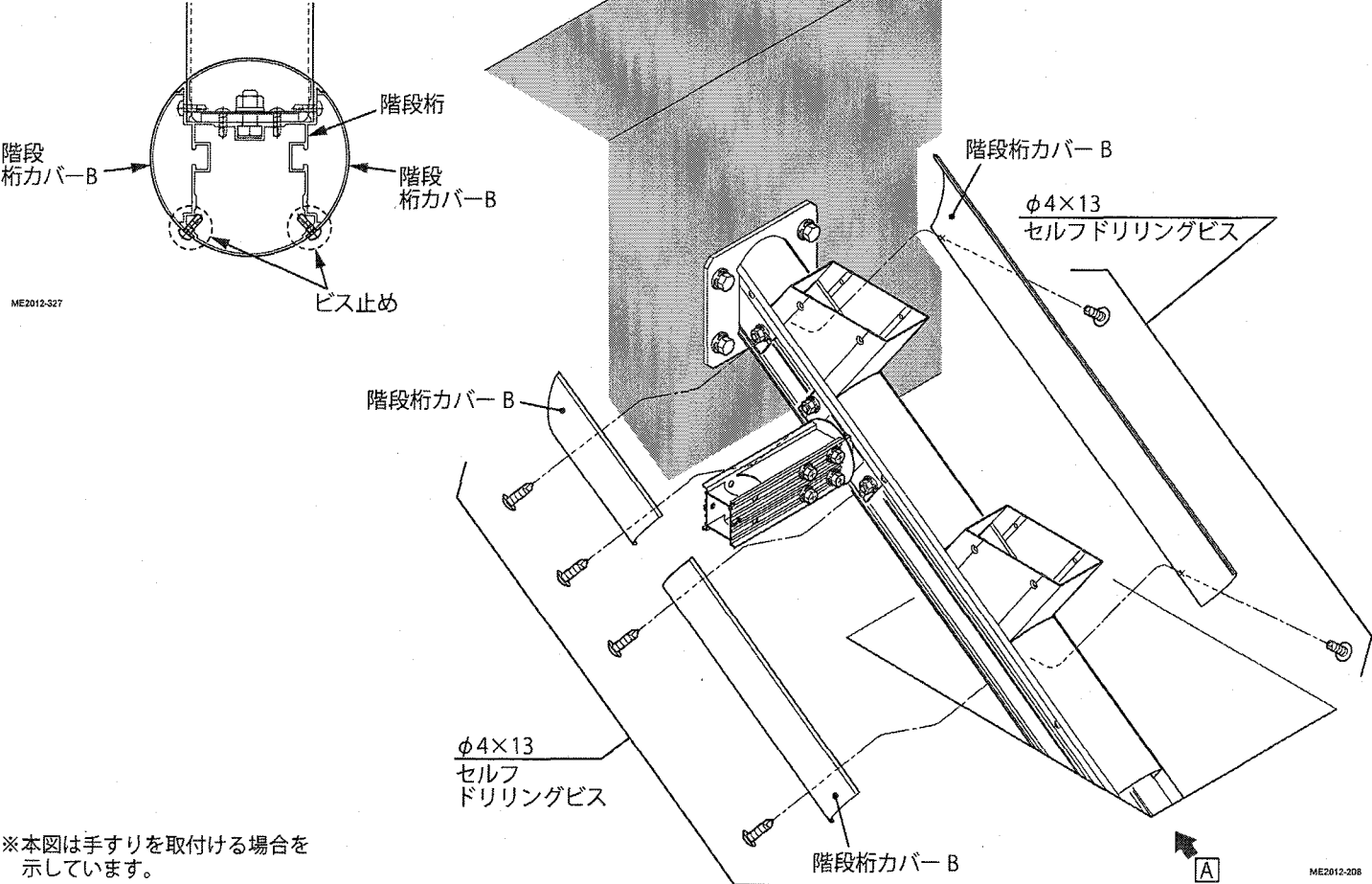


ME2012-212

2-5-2 桁カバーの取付け

①階段桁カバー B を、階段桁に取付けてください。

● A から見る



※本図は手すりを取付ける場合を示しています。

ME2012-208

2-6 手すり柱の取付け



手すりを取付ける場合に参照してください。



手すり柱（ステアー下部用）の設置は、後工程で行います。

①手すり柱を、手すり接続部材に取付けてください。



●手すり柱は上側から取付けてください。
●取付けの際、接続部材カバー（上）の穴に通して取付けてください。
※穴を通さないと、カバーを取付けることができません。

②手すり柱を取付後、柱の通りを確認してください。

③接続部材カバー（上）・（下）を固定してください。



カバー（上）・（下）をはめ合わせてから、側面にビス止めしてください。

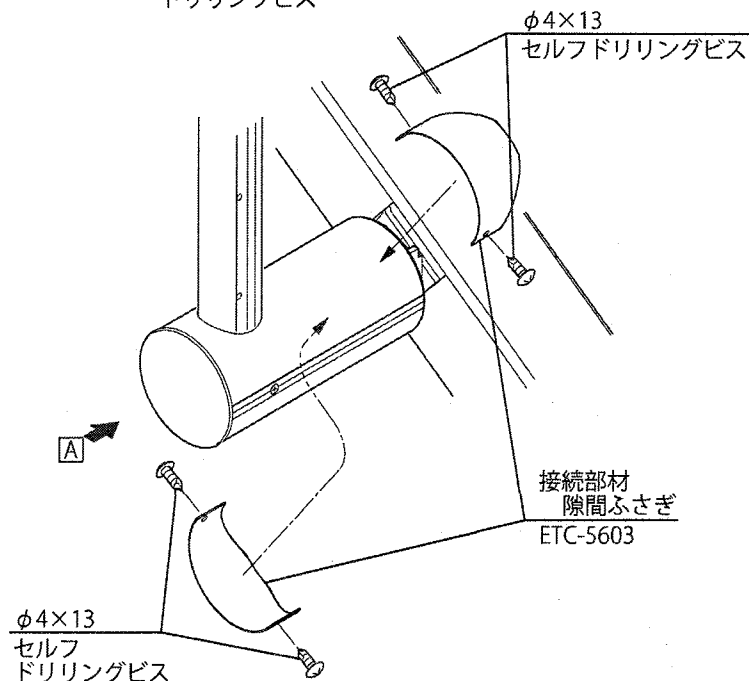
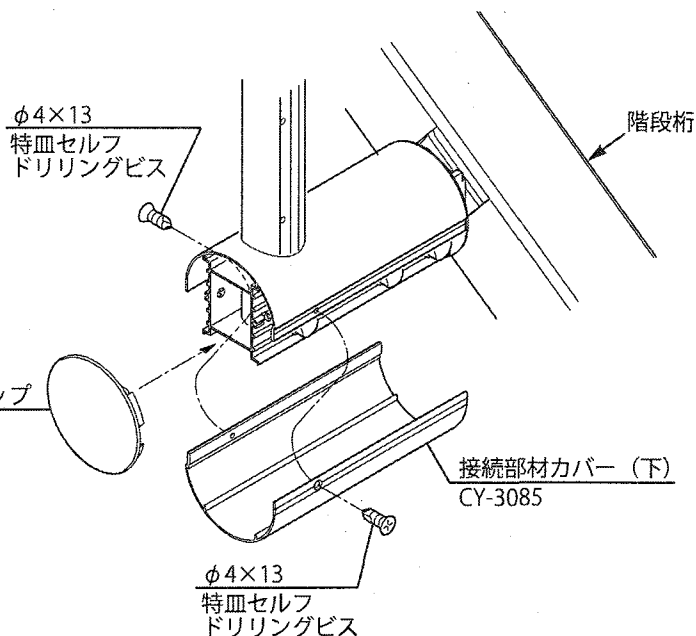
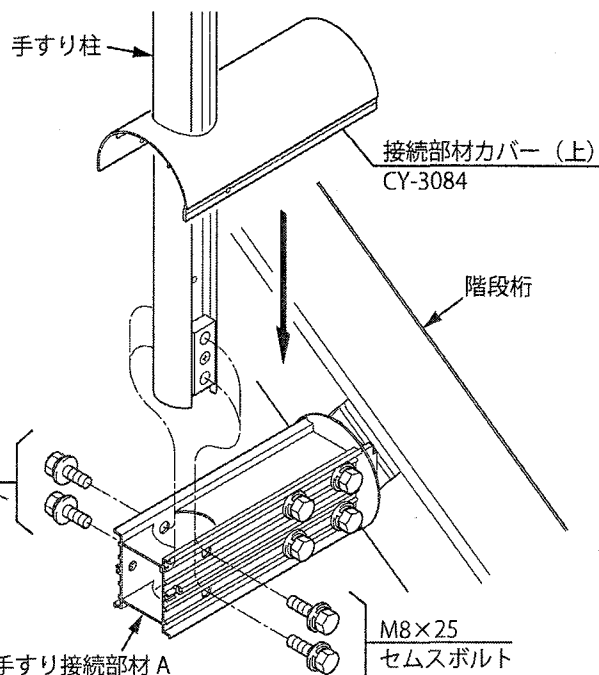
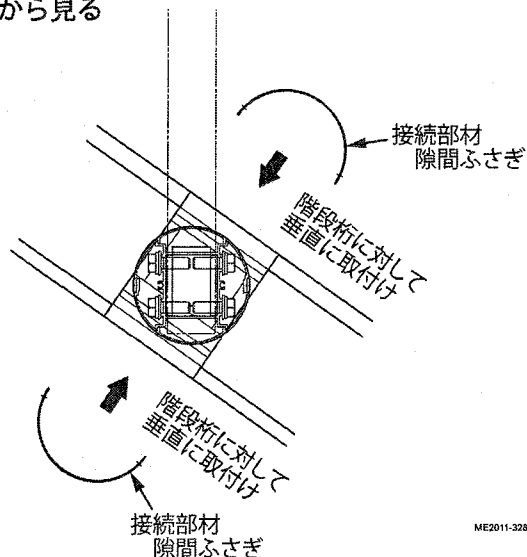
④接続部材端部キャップを、手すり接続部材の端部に取付けてください。

⑤接続部材隙間ふさぎを取付けてください。



●階段柵側面の丸みに合わせて、任意の位置でビス止めしてください。
●接続部材隙間ふさぎ取付後も、階段柵下部との間にはわずかな隙間が生じます。

●Aから見る



2-7 踏板の取付け

2-7-1 踏板の組立て

- ① 踏板取付裏板を、踏板内部にスライドさせて挿入してください。



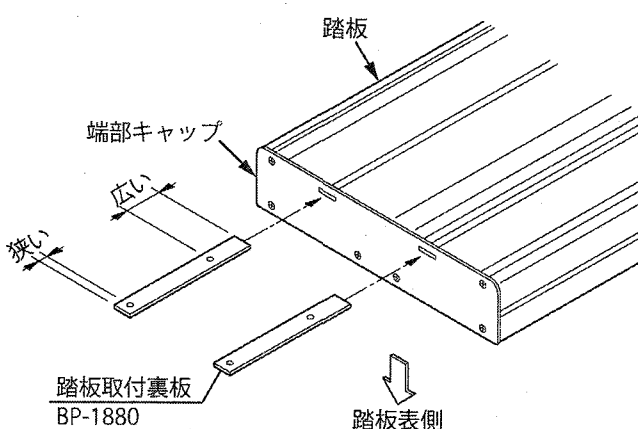
踏板の端部キャップの穴から挿入してください。

※端部キャップを取外す必要はありません。



裏板は、必ず端部と加工孔までの寸法が広い側から挿入してください。

※逆側から挿入すると、手すりを取付ける場合に後工程で手すり柱控え金具 A を取付けることができません。

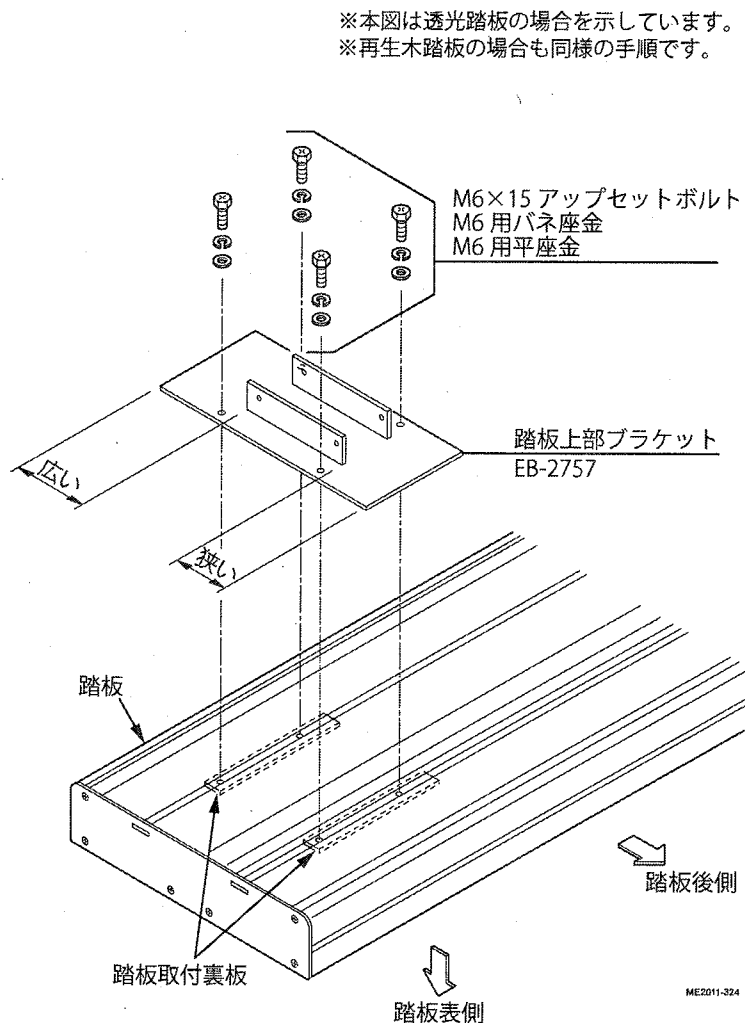


ME2011-314

- ② 踏板上部ブラケットを、踏板取付裏板に取付けてください。

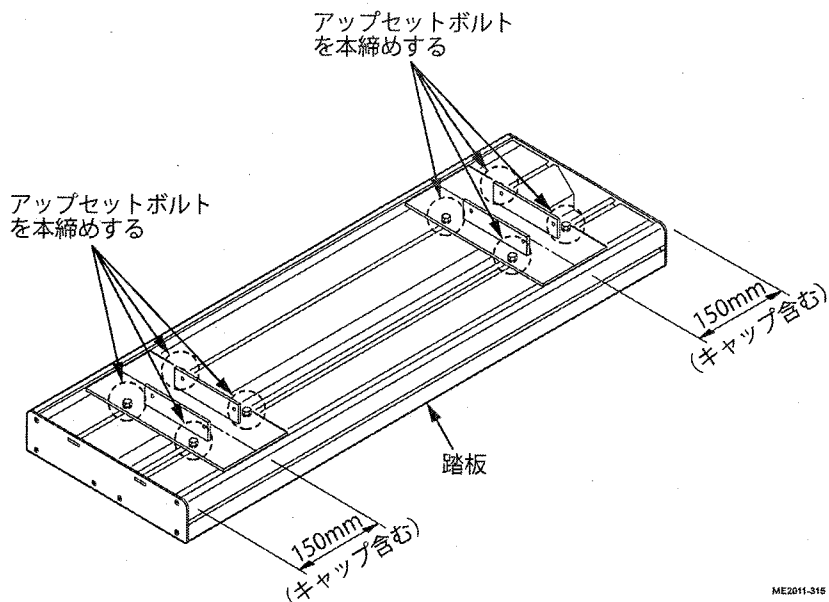


踏板上部ブラケットには取付の向きがあります。右図で確認してください。



ME2011-324

- ③ 踏板上部ブラケットのアップセットボルトを、右図の位置で本締めしてください。

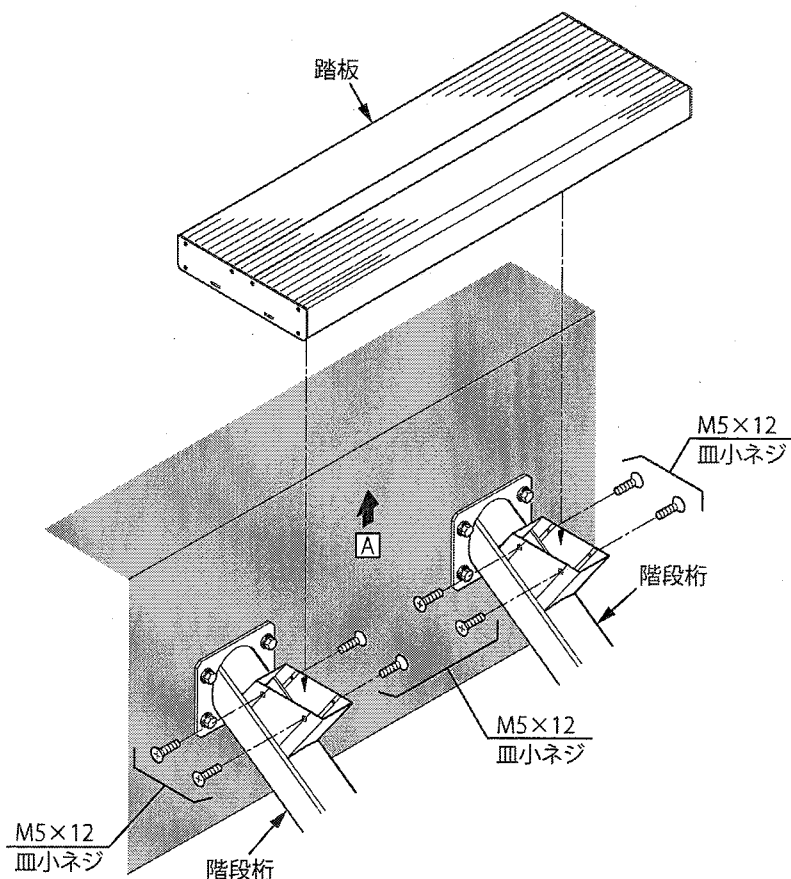
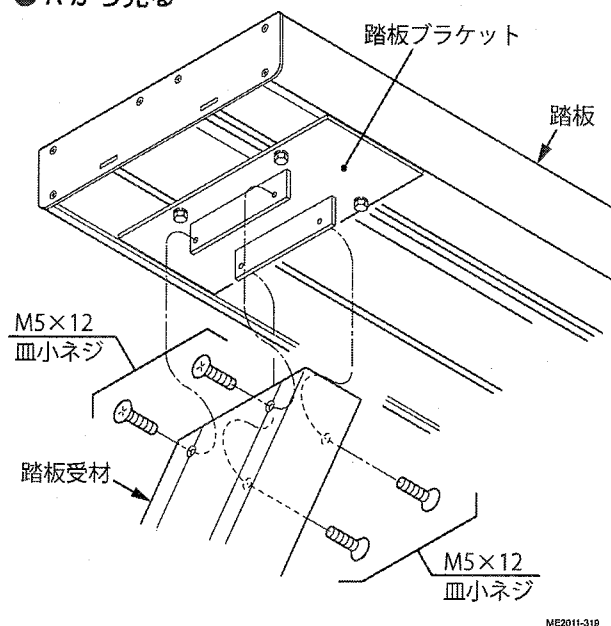


ME2011-315

2-7-2 踏板の取付け

①踏板的踏板上部ブラケットを、階段桁の踏板受材に取付けてください。

● A から見る



2-8 階段の設置



手すりを取付ける場合は、後工程で行います。ここでは固定しないでください。
※詳細は「3-3」参照。

①階段をコンクリートで固定してください。

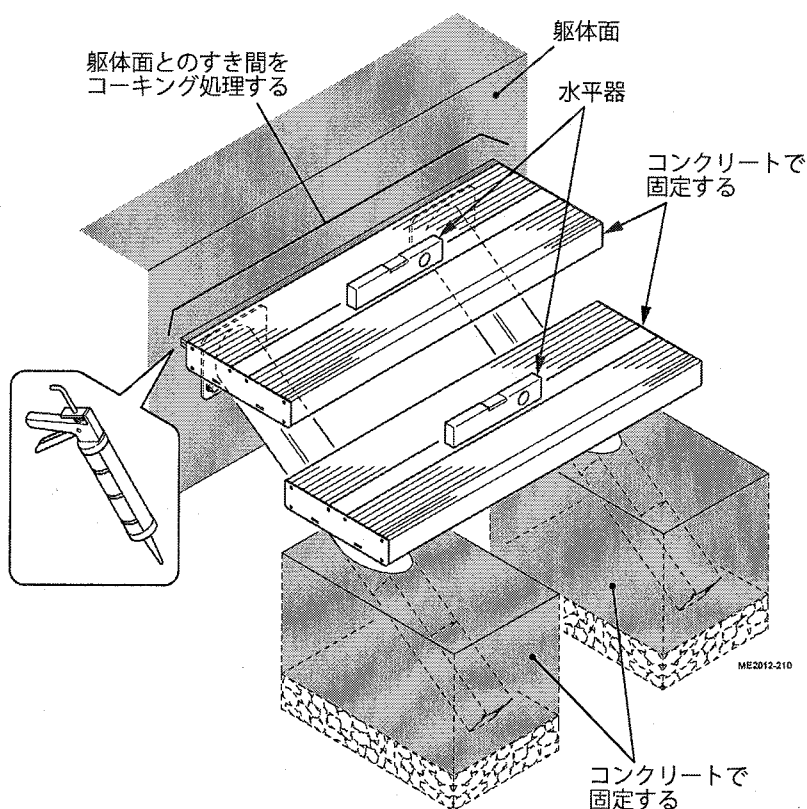


- 踏板の高さとレベルを正確に合わせてください。
- 階段桁の傾斜角度は 35° (角度一定) です。



地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように、桁位置を決めてください。

②最上段の踏板と躯体とのすき間を、コーキング処理してください。



手すりの取付け

●手すりを取付ける場合に参照してください。

3-1 手すり柱控え金具の取付け

※本図は透光床の場合を示しています。

- ①控え金具裏板を、踏板内部にスライドさせて挿入してください。



踏板の端部キャップの穴から挿入してください。

※端部キャップを取外す必要はありません。

- ②手すり柱控え金具 A を、手すり柱（ステアー上部用）下部に配置してください。

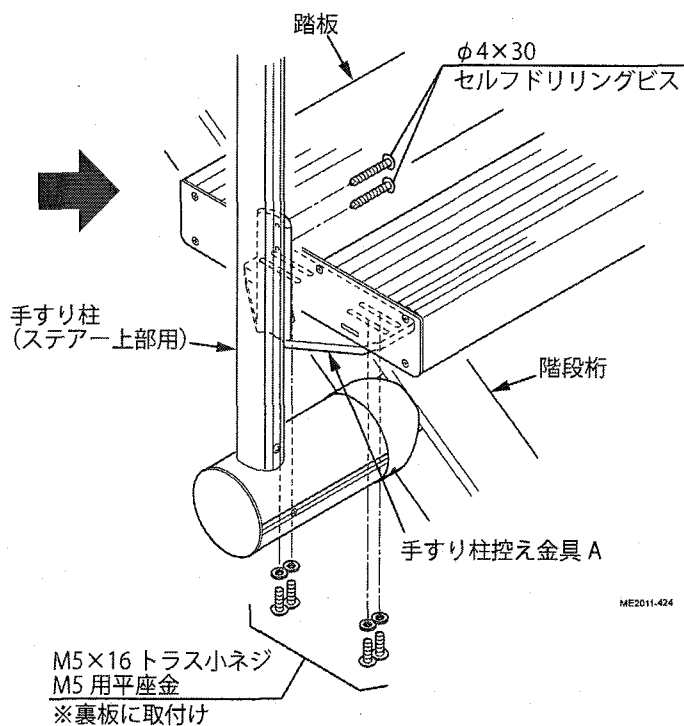
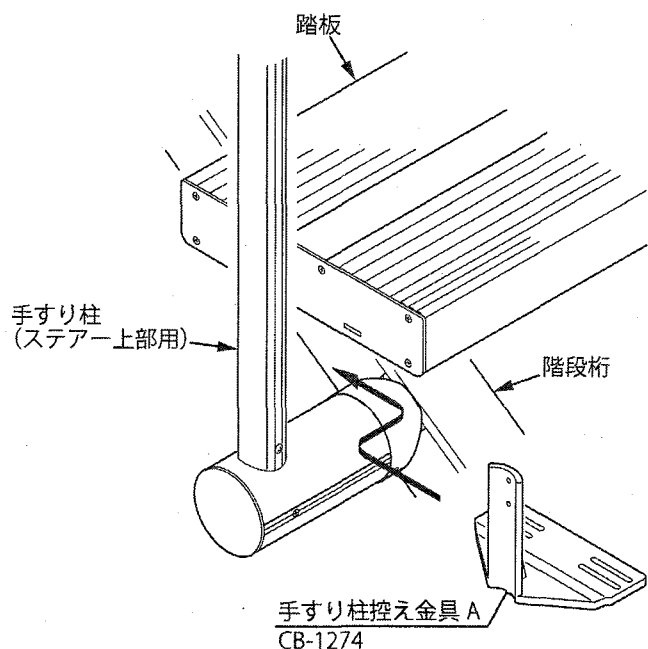
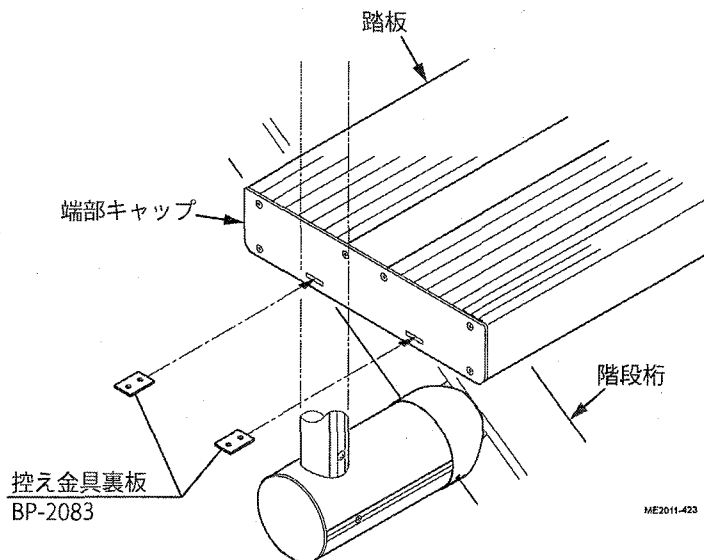


踏板と手すり柱・手すり部材のすき間に、横方向からスライドするように配置してください。

- ③手すり柱控え金具 A を、踏板と手すり柱（ステアー上部用）へ固定してください。



踏板へは「手順①」で取付けた裏板へ取付けてください。



3-2 笠木の取付け

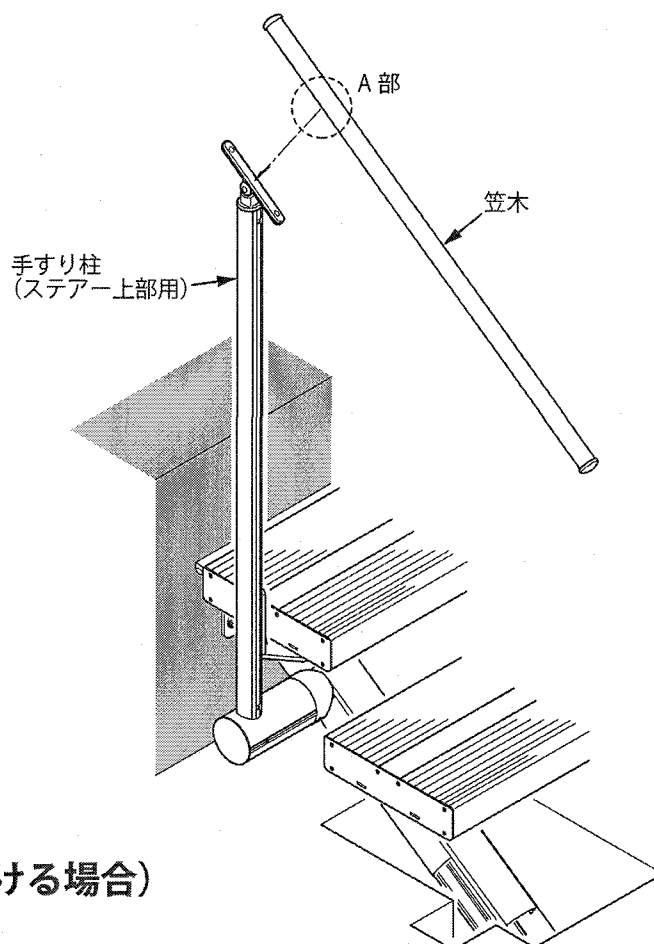
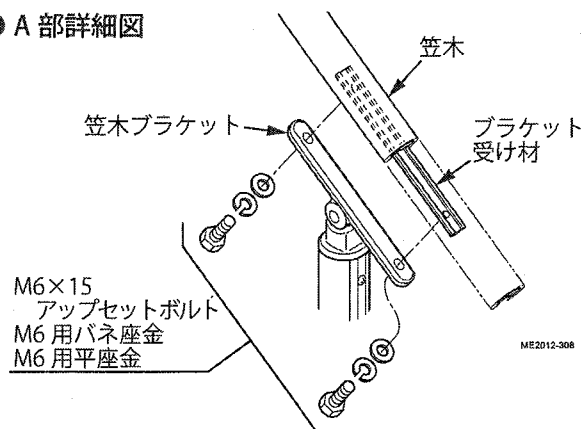
- ①手すりおよび継手に梱包されている取付説明書を参照して、手すりを手すり柱に取付けてください。



参照取付説明書

- ・「UD 手すり」 [ME-1459]
- ・「UD 手すり 自在コーナー継手」 [ME-1648]

● A 部詳細図



3-3 階段の設置 (※手すりを取付ける場合)



手すりを階段に取付けた場合に参照してください。

- ①現場状況に合わせて、手すり柱 (ステアー下部用) の設置位置を確認してください。



- 必ず、取付済みの手すり柱と一直線上に配置してください。
 - 笠木との高さを正確に合わせてください。
- ※正確に合わせないと、笠木の取付不良の原因となります。

- ②階段および手すり柱 (ステアー下部用) を、コンクリートで固定してください。



- 踏板の高さとレベルを正確に合わせてください。
- 階段桁の傾斜角度は 35° (角度一定) です。

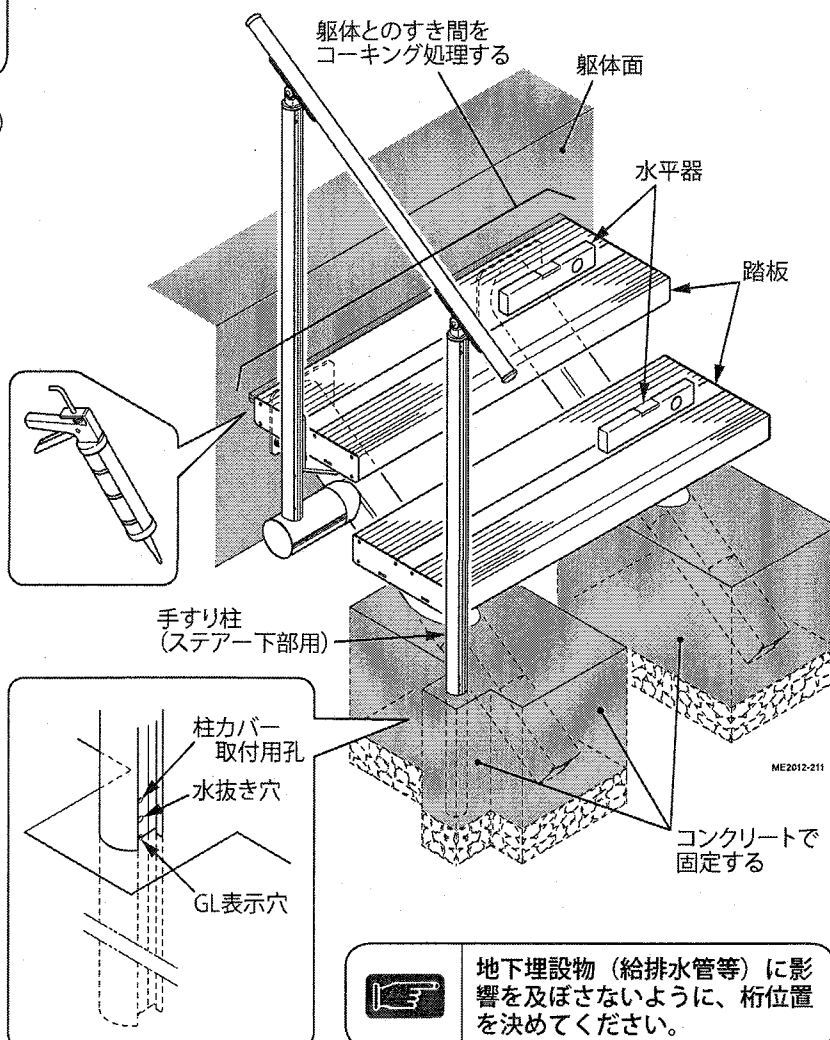


GL 表示穴を目安にしてください。



水抜き穴をふさがないようにしてください。

※凍結破損の原因になります。



- ③最上段の踏板と躯体とのすき間を、コーキング処理してください。



地下埋設物 (給排水管等) に影響を及ぼさないように、桁位置を決めてください。

3-4 ワイヤーの取付け



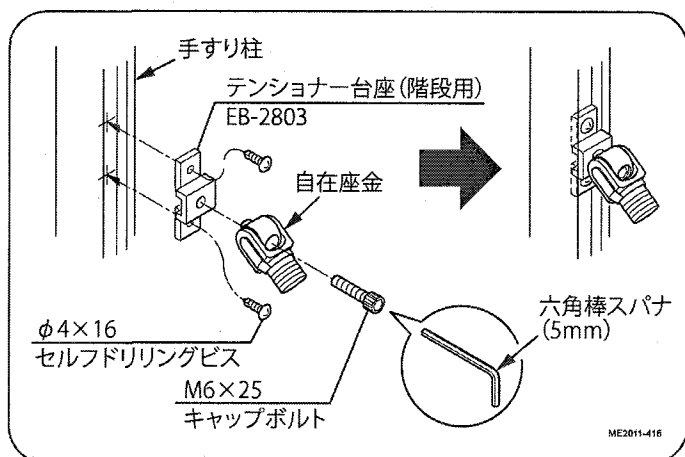
ワイヤーを取付ける場合に参照してください。



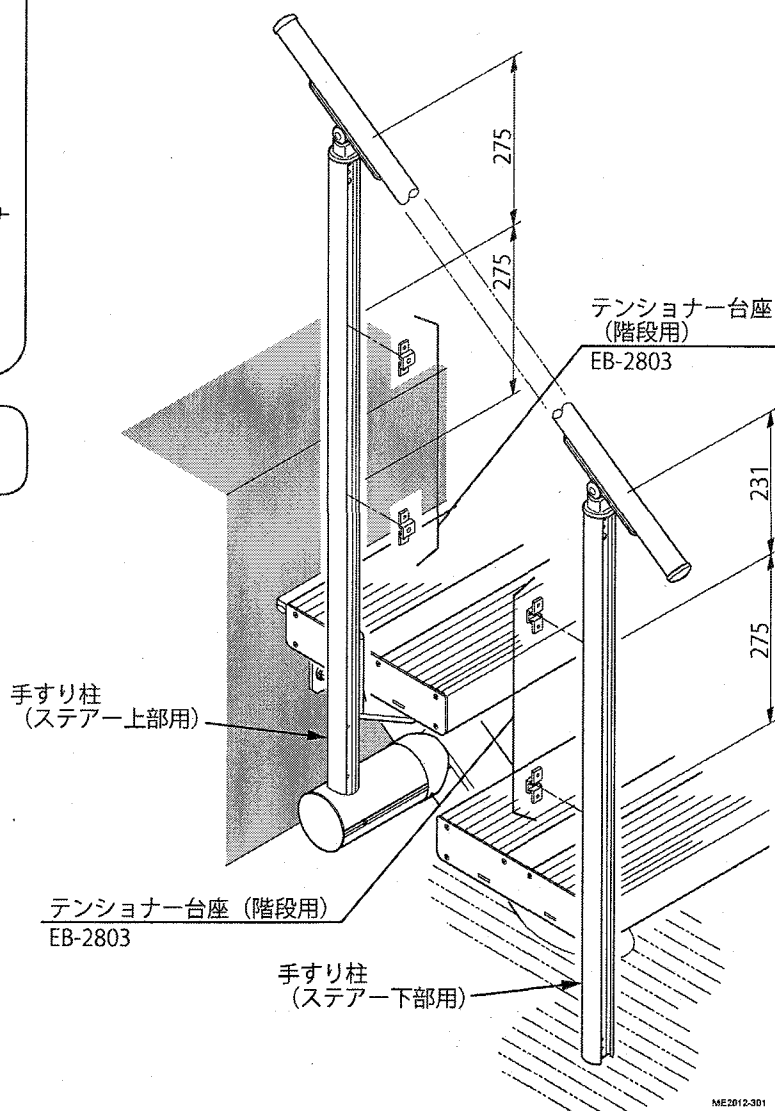
施工前に、笠木の取付けおよび階段の設置を完了させてください。

①自在座金を、テンショナー台座（階段用）に取付けてください。

②テンショナー台座（階段用）を手すり柱に取付けてください。



キャップボルトの締付けには六角棒スパナ (5mm) を使用してください。



③ワイヤーを手すり柱に張ってください。

ワイヤーの張り方

A. ワイヤーをロープテンショナー (RTS) に通してください。



必ず、ワイヤーは先にロープテンショナー (RTS) に通してください。

B. ロープテンショナー (RTS) を自在座金に仮固定してください。



取付けの左右の区別はありません。

C. ロープテンショナー (RTC) を、もう片方の自在座金に仮固定してください。



- ロープテンショナーは、RTS と RTC で一対となります。
- 必ず、RTS と RTC は同じ位置の座金に取付けてください。

D. RTC 側のワイヤーの端部を、右図の寸法で切断してください。

E. 切断部より 35mm の位置に、マジックなどで印をつけてください。

F. ワイヤーを、印をつけた箇所までロープテンショナー (RTC) に差し込んでください。

G. RTC 側→ RTS 側の順で、それぞれのロープテンショナーを専用スパナでいっぱいまで締め込んでください。



必ず、RTS 側→ RTC 側の順で締め込んでください。

ワイヤーの外し方

H. ロープテンショナー (RTC) を専用スパナで緩めてください。

I. ロックフリーを、ロープ差込み口より矢印方向に差込みながらロープを抜いてください。



再度ワイヤーを取付ける場合は、「ワイヤーの張り方」と同様の手順です。

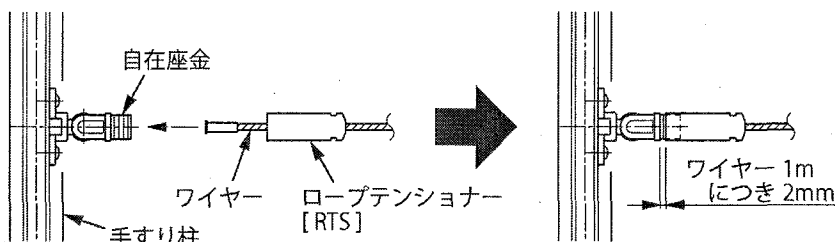


施工完了後、専用スパナ・ロックフリーは施主様にお渡しください。

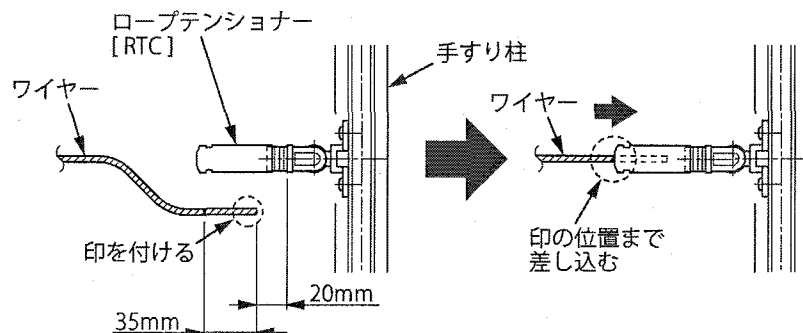
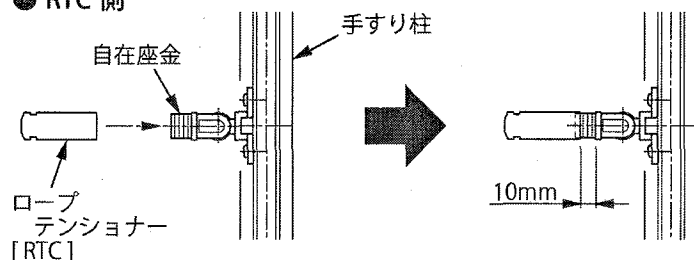


ワイヤーの切断は、ワイヤーカッターを使用してください。

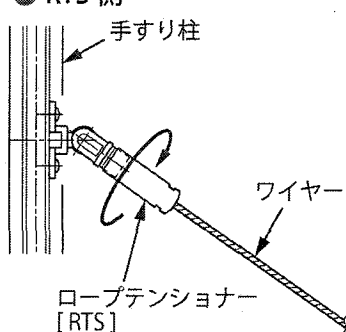
● RTS 側



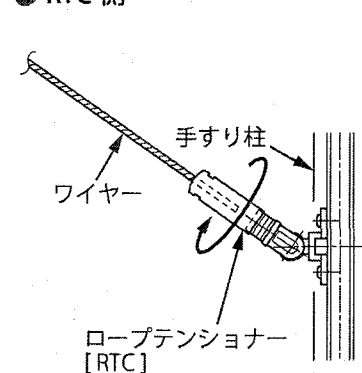
● RTC 側



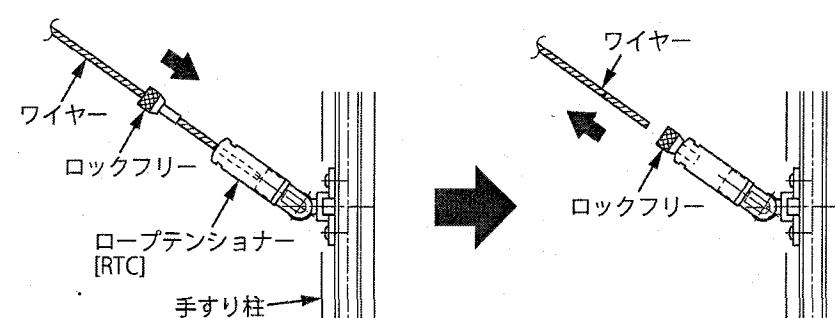
● RTS 側



● RTC 側



● RTC 側



3-5 手すり柱カバーの取付け

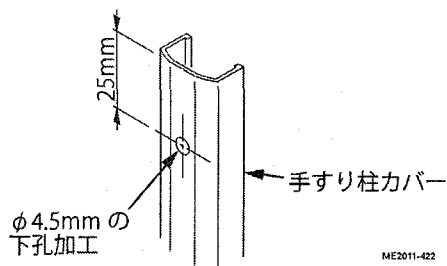
3-5-1 手すり柱カバーの加工



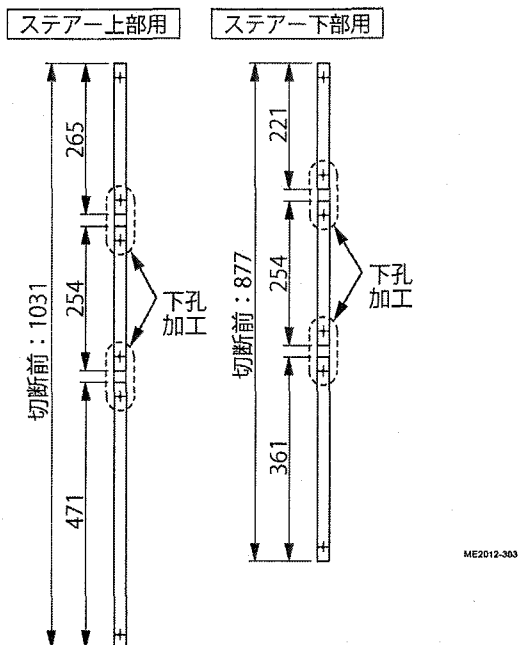
ワイヤーを取付ける場合は、手すり柱カバーを切詰めてください。

- ①手すり柱カバーを、右図を参照して切断してください。
- ②切断側の手すり柱カバーの端部に、下孔をあけてください。

●下孔加工



ME2011-422



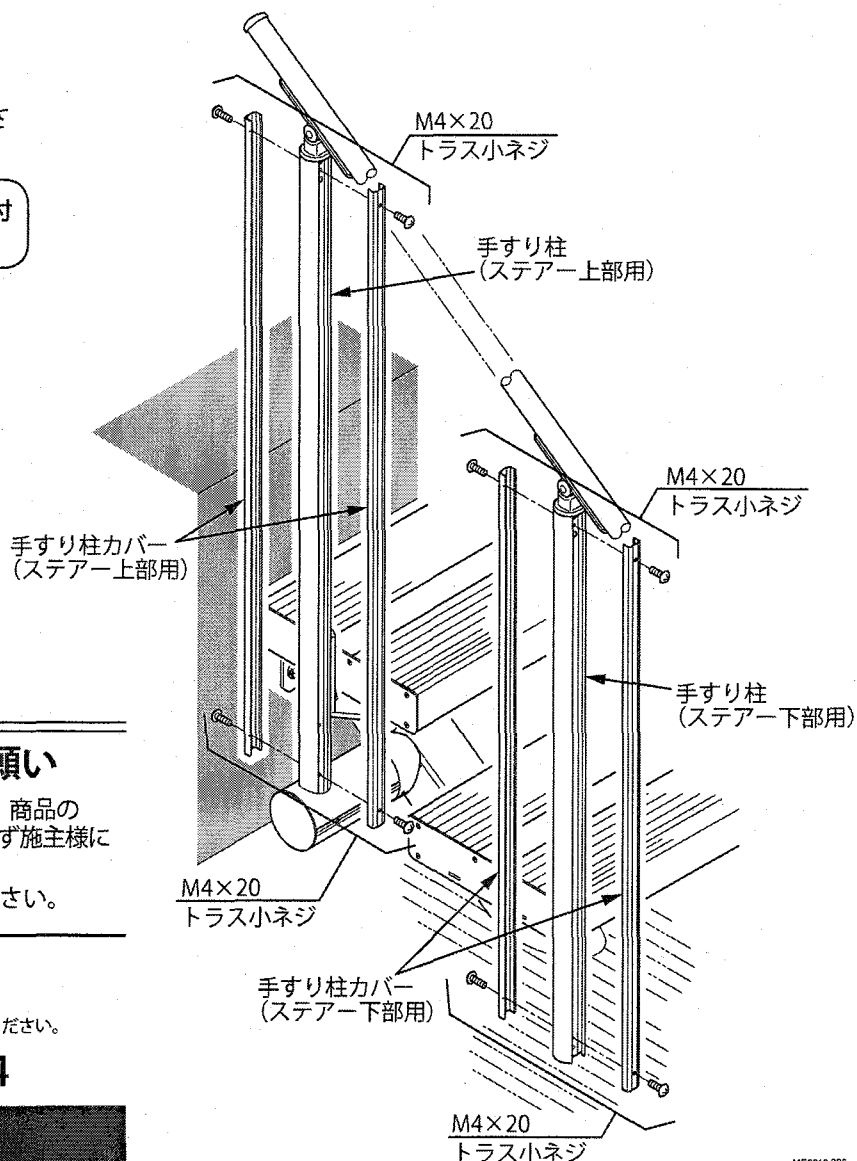
ME2012-303

3-5-2 手すり柱カバーの取付け

- ①手すり柱カバーを、手すり柱に取付けてください。



同様の手順で、全ての手すりカバーを取付けてください。



■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室 0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ
http://www.shinnikkei.co.jp